

第33回 令和6年度

全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会

〔会場：栃木県宇都宮市／ホテルニューイタヤ〕

あなたの取り組みを、みんなが求めています！

実践事例 募集！

第33回 令和6年度 全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会（栃木大会）における実践事例発表者を募集します！

多くのノウハウを全国各地の仲間に広め、共有することで、センター運営の質の向上に寄与することを目的としています。

日頃の創意工夫に基づく実践や成功した取り組み、新たな試みなど、たくさんのご応募をお待ちしています！

応募締切：令和6年8月2日（金）

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会



うつのみや花火大会



釜川プロムナード



駅前通り



宇都宮餃子祭り

画像提供：一般社団法人 宇都宮観光コンベンション協会

1 応募資格

- 地域包括支援センター および 在宅介護支援センター 関係者
 - ・ 市区町村等行政職員、社会福祉協議会職員を含みます。本会の会員に限りません。
 - ・ 同一センターから複数の応募も可能です。

2 応募方法

- ① 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会のホームページへアクセスし「[応募フォーム](#)」から申込をしてください。
- ② ホームページから「[発表要旨原稿 \(Word\)](#)」をダウンロードし、発表内容の概要を記入のうえ、本会事務局へE-mailでご応募ください。

(応募フォーム) <https://forms.gle/bJksCLaynaBLu4bM9>

(ホームページ) <http://www.zaikaikyo.gr.jp/>

(提出先) z-konen@shakyo.or.jp

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 事務局 宛

(応募締切) 令和6年8月2日(金)



3 発表要旨原稿

- 原稿は下記に基づき発表内容の概要を記載してください。
 - ・ Microsoft : Word
 - ・ A4判2頁以内(横書き)
 - ・ 1頁: 38字×38行(図表含む)
 - ・ 文字サイズ: 12pt
- その他、作成上の注意事項
 - ・ 文献を引用した場合には、**出典を明記**してください(2頁の原稿に含む)。
 - ・ 事例等を記載する際、**個人や団体等の特定につながるような記述は避けてください。**
 - ・ 人物にイニシャルを使用する場合には、**実際のものではなく、A、B、C…と順に記述**してください。
 - ・ 採用された事例の発表要旨原稿は大会資料(抄録集)として印刷し、大会参加者全員に配布します。
 - ・ 原稿全体の表記統一のため、事務局で若干の修正を加える場合があるほか、採択後に修正等をお願いすることもあります。

4 発表テーマ

- 希望する発表分科会と発表テーマをそれぞれ選択してください。

発表分科会

第 1 分科会
虐待防止
・**権利擁護**

助言者(予定)：吉川悠貴氏
(東北福祉大学 准教授)

第 2 分科会
地域づくり
(多機関連携、地域住民活動の掘り起こし等)

助言者(予定)：永田 祐氏
(同志社大学 教授)

第 3 分科会
災害に備える
(BCPの策定、地域包括支援センターとしての災害対応等)

助言者(予定)：早川 仁氏
(流山市社会福祉協議会 事務局長)

発表テーマ

※複数選択可

- A** 感染症を踏まえた取り組み
 - ・ オンラインを活用した相談・会議、在宅高齢者のフレイル予防等
- B** 総合相談と相談体制の強化
 - ・ センター休所日の相談体制の構築、多分野の相談受付・支援等
- C** 権利擁護・虐待防止
 - ・ 成年後見制度利用促進・普及、虐待や消費者被害防止等の対応、啓発、ネットワークづくり等
- D** ケアマネジメント支援の取り組み
 - ・ ケアマネジャーの個別支援や専門職連携体制の構築、地域におけるケアマネジメントの理解促進等
- E** 地域ケア会議の取り組み
- F** 医療・介護連携の取り組み
- G** 介護予防・生活支援に向けた取り組み
 - ・ 総合事業、生活支援体制整備、生活支援コーディネーター、地域の担い手養成等
- H** 認知症に関する取り組み
 - ・ 初期集中支援チーム、地域支援推進員、若年性認知症の支援、認知症カフェ等
- I** センターの機能強化・人材育成
 - ・ センター職員の人材育成、3職種に「準ずる者」の効果的な配置、在宅介護支援センターと地域包括支援センターとの連携、機能強化型・基幹型センターの取り組み等
- J** 災害に備える取り組み、BCPなど
- K** その他



5 審査等

- 本会研修委員会にて採否を決定します。
- 応募いただいた方には採否を令和6年9月上旬頃にお知らせいたします。
- 実践発表が決定した方には、発表当日に使用するレジュメデータを10月4日までにご提出をお願いいたしますので、あらかじめご承知おきください。詳細は採否のお知らせ時にご案内いたします。

6 実践発表方法

- 第33回 令和6年度 全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会の会場（ホテルニューイタヤ／栃木県宇都宮市）にて実施します。
- 発表日：令和6年11月12日（火）10:15～12:30
- 発表の詳細は、採用時のお知らせとともにご案内いたします。
- お一人当たりの発表時間は10分を予定していますが、全体の実践発表数等に応じて変更する必要があることを、あらかじめご承知おきください。

7 その他

- 発表者の大会参加費は本会にて負担いたします（本会会員センターのみ）。
- 旅費・宿泊費・撮影（録音）にあたり発生した費用等は、発表者ご自身にてご負担ください。
- 全国研究大会における実践事例として発表いただくとともに、本会各種広報媒体（会報誌・ホームページ等）や他の研修会などにおいてご紹介・ご協力をお願いする可能性があることを、あらかじめご承知おきください。

● お問い合わせ先 ●

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 事務局（担当：仁木）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 老年・障害福祉部内
TEL. 03-3581-6502 / FAX. 03-3581-2428 / E-mail z-konen@shakyo.or.jp
ホームページ <http://www.zaikaikyo.gr.jp/>